

令和2年度 事業計画

基本方針

シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を提供することなどにより、その能力を生かした就業や、その他の多様な社会参加活動を援助して、高齢者自身の生きがいの充実と、福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会を作り出すことを目的としています。

備前市においても少子高齢化が急速に進行し、人口の高齢化と労働力人口の減少が一層進む中で、備前市の活力を維持・増進していくためには、高年齢者が、福祉の受け手ではなく、社会の担い手として、地域社会の一員としていきいきと働く、または、ボランティアをはじめ、いろいろな社会活動に参加していくようにすることが必要であります。

地域社会にとって、シルバー事業が果たす役割はますます重要なものとなっており、事業の充実・強化を図り、課せられた責務を果たすべく努力を重ねてまいります。

また、更なる会員拡大や就業機会の開拓を図るべく、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、備前市をはじめ関係機関の支援と協力を得ながら、より一層市民から愛され、信頼される、魅力あるセンターづくりに努めてまいります。

1. 備前市シルバー人材センター事業活性化計画

以下のとおり目標を設定し、事業の活性化を図ります。

《就業機会目標》

		(参考)実績			(見込)	目標
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
会員数 (人)	男	108	114	108	108	124
	女	50	56	53	44	61
	計	158	170	161	152	185
就業率 (%)	請負・委任	94.3%	91.8%	91.3%	89.5%	95.8%
	派遣	34.6%	100.0%	100.0%	100.0%	37.2%
就業延人員 (人日)	請負・委任	15,114	15,385	14,393	13,800	17,651
	派遣	654	1,068	1,522	1,160	874
受注件数 (件)	請負・委任	2,723	2,775	2,589	2,400	2,886
	派遣	3	6	7	10	4
契約金額 (千円)	請負・委任	76,761	80,330	75,766	73,000	81,367
	派遣	4,236	7,940	12,867	8,300	5,507

※ 目標は、「第二次 中期活動計画」(平成30年度から5年計画)

◎ 会員数や受注件数の減少、また契約額も減少が懸念されますが、会員・役職員が一丸となって必ず目標を達成したいと思います。

2. 組織活動の活性化

シルバー人材センターの基本理念「自主・自立・共働・共助」の実現に向け、会員参加の自主運営組織としての活動を促進します。

- ① 理事会・専門部会の機能強化により、自主・自立的な運営と、地域班・職群班の設置による効果的な運営に努めます。
- ② 会員同士の声掛けによる「1人1会員 紹介運動」を展開し、新規会員の入会を促進します。
- ③ センターでの就業は、2人以上で「共働・共助」が基本です。
会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るための活動等を促進します。

3. 普及啓発活動の推進

市民と地域社会に、シルバー事業の基本理念及び仕組みを広く周知し、地域住民の信頼と理解が得られるように、普及啓発活動を促進します。

- ① 広報誌等による宣伝活動
- ② ホームページでの普及啓発活動
- ③ 各種イベントへの参加等によるキャンペーン
- ④ 地域社会への貢献の一環として、組織的なボランティア活動

4. 就業開拓と就業機会の拡大

「みんなで開拓、みんなで就業」がシルバー事業の基本であり、役職員をはじめ、会員一人ひとりが就業開拓に努め、多様な就業分野での就業機会の確保と拡大に努めます。

また、請負または委任になじまない仕事は、シルバー派遣事業として、就業機会の確保と拡大に努めます。

5. 安全・適正就業の推進

地域社会の一員として、健康で生きがいのある生活を営むために、「安全は、すべてに優先する」を基本として、組織をあげて安全就業に努めます。

- ① 安全・適正就業委員等による就業現場のパトロール
- ② 各種講習会（交通安全教室も含む）の実施

6. 調査・研究の促進

社会経済等、変革の時代にあって、センターが時代に適合した事業の展開を図っていくため、また、理事会・地域班・職群班等の組織活動を育成・充実するため、先進地センターの調査及び研究を実施していきます。

また、備前市の介護予防・日常生活支援総合事業の「ささえあい訪問サービス」への積極的な参画など、超高齢社会における福祉事業への対応、貢献ができるよう続けて研究してまいります。